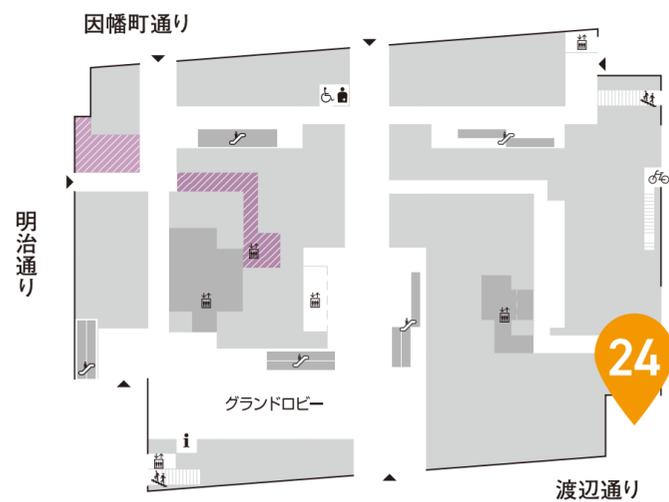


Pixel Tree

Leandro Erlich

レアンドロ・エルリッヒ

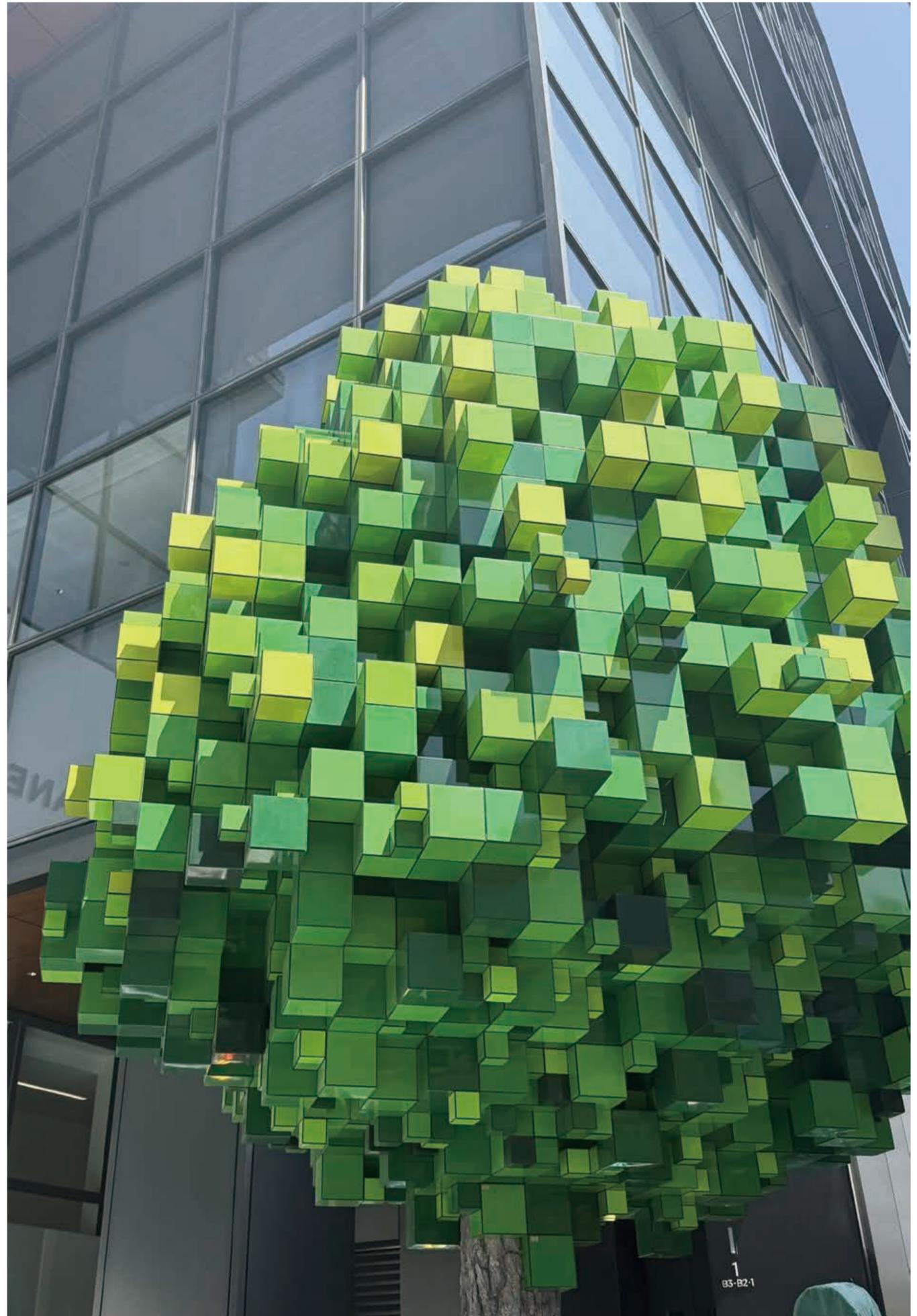
“現実の自然界”と“身の回りに存在するバーチャル”を組み合わせた、現代を象徴する作品です。ピクセル型の葉で構成された“木”を模したアートが、福博であい通りの入口の広場を彩ります。

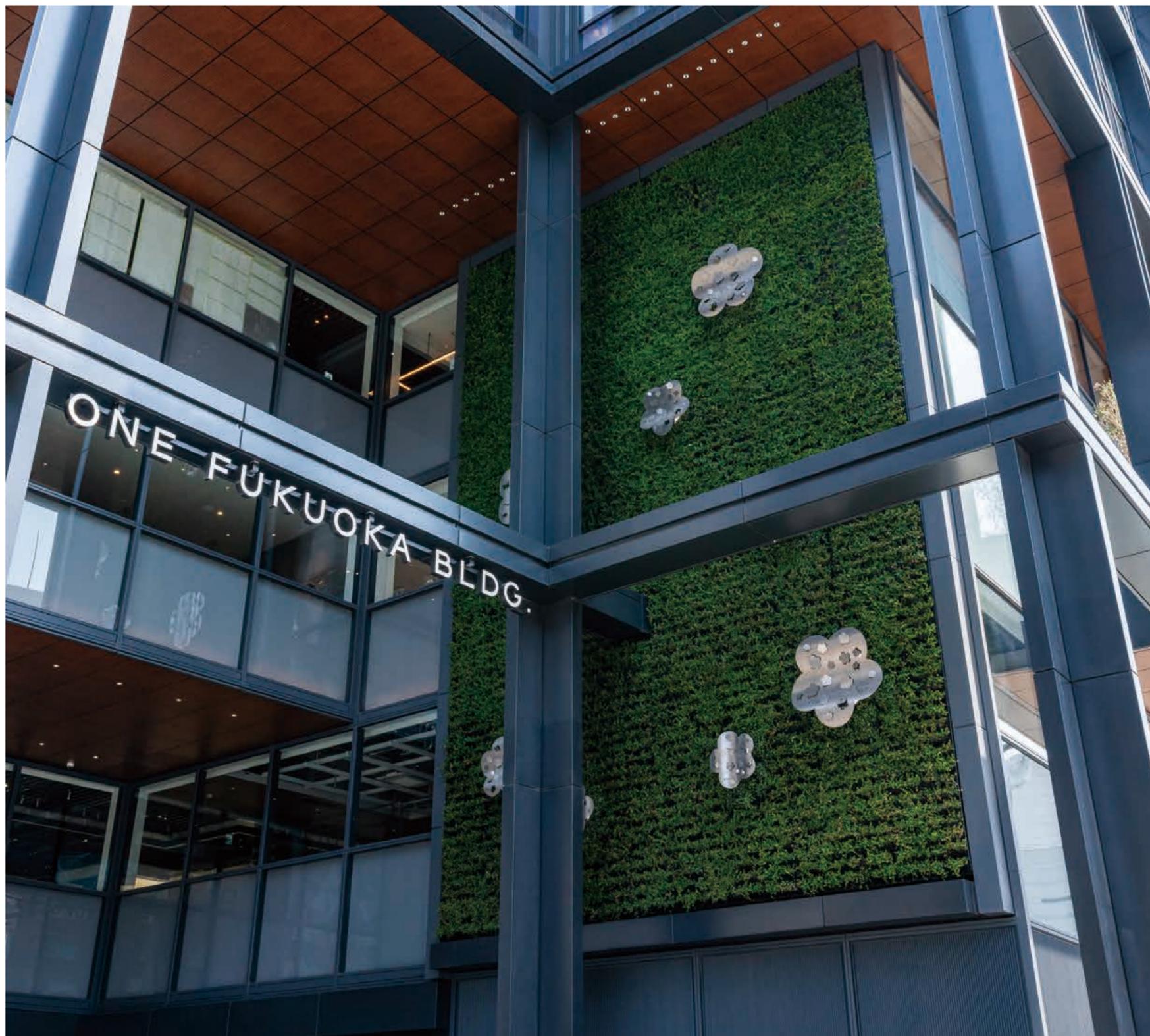


1F 南西側広場



ONE FUKUOKA BLDG.



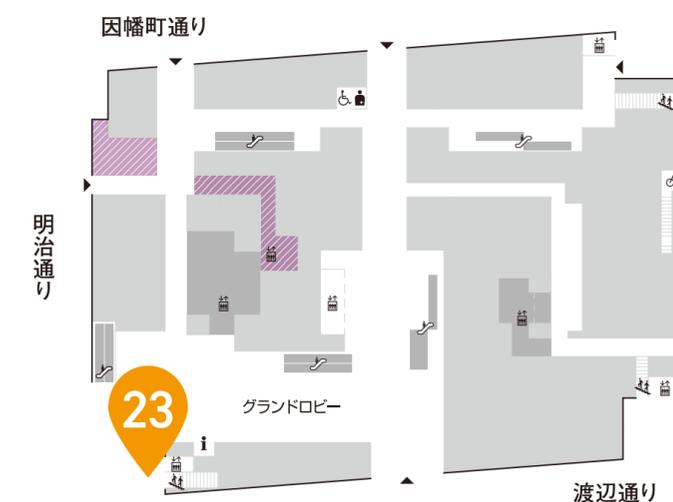


Future Bloom

Nicolai Bergmann

ニコライ・バーグマン

天神交差点のランドマークとなる、約12m×約8mの大規模な壁面緑化とアートのコラボレーション作品。福岡や天神にゆかりのある梅の花を、大小さまざまなステンレスでモダンに表現します。



1F 北西側広場



ONE FUKUOKA BLDG.

舘鼻 則孝

タテハナ ノリタカ

福岡・天神の中心地「ONE FUKUOKA HOTEL」のコンセプトキーワード「天神さま」を体現する79点の作品を客室やロビーなどに設置。「装飾品ではなく、ホテルの要素の一部となるアート」を目指して、HOTEL開業にあわせて新規制作。

因幡町通り

明治通り



渡辺通り

18-19F ONE FUKUOKA HOTEL客室内他

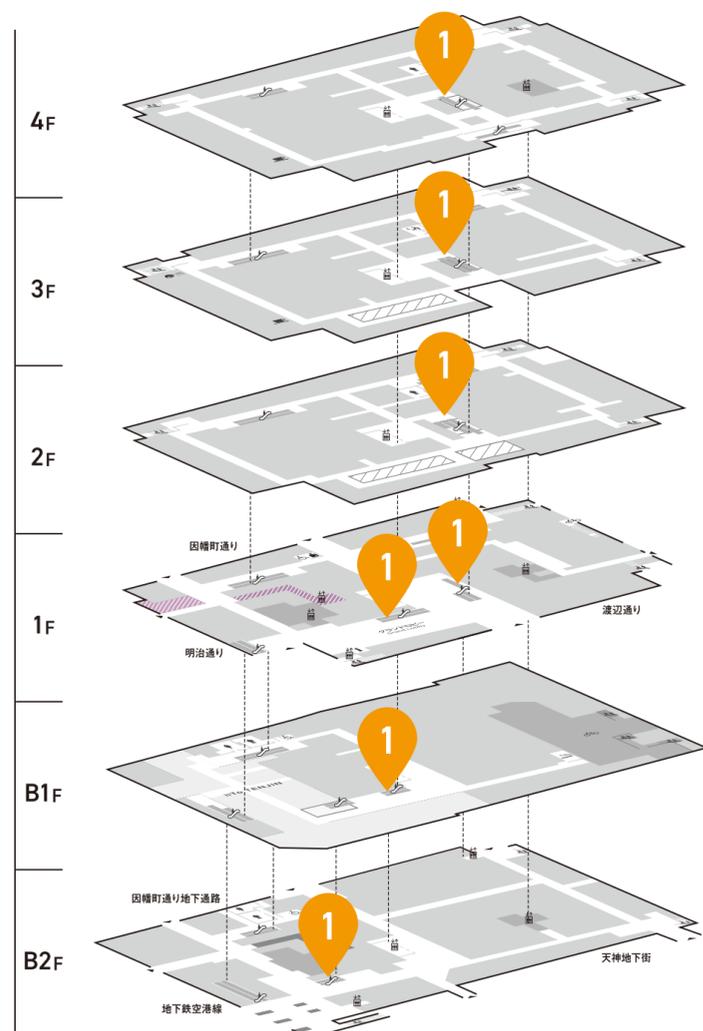


ONE FUKUOKA BLDG.

Mi volas paroli

鹿児島 睦
カゴシマ マコト

館内地下2階～地上4階のエスカレーター横の壁面を舞台にした、道しるべとなる象嵌(ぞうがん)アートタイル作品。水中や陸上の多様な生物が訪れる人々を楽しげに出迎えます。



B2~4F 館内エスカレーターホール壁面

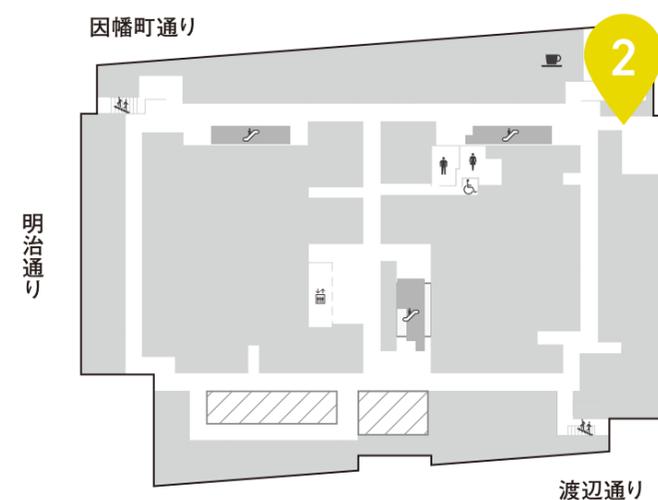
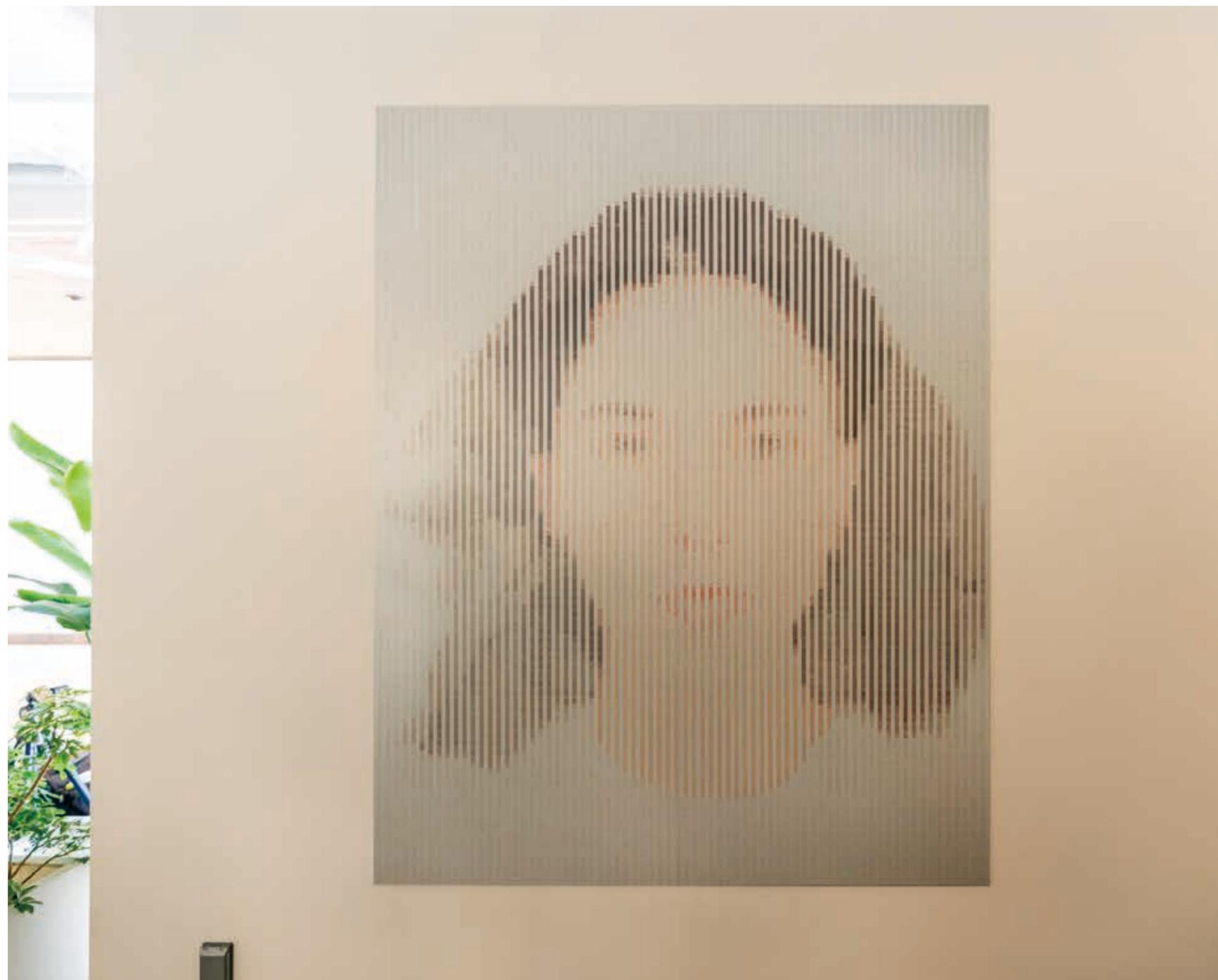


tieCOM_2501

Soh Souen

ソー・ソウエン

証明写真をピクセルに分解し点描の手法で制作されたシリーズ作品です。この作品では、自己(描かれた対象)を他者(小さな色面)の集合体と捉え、無数の抽象的な小さな色面の集合体で構成されており、他者(鑑賞者)が作品と一定の物理的な距離を確保することにより、個々の色彩が結合し対象(証明写真)のイメージが出現します。また、鑑賞者の心理的距離によっても、作品に描かれた対象のイメージは変容します。tieシリーズは、自己(描かれた対象)と他者(鑑賞者)の複雑な関係性について焦点が当てられています。



2F 商業フロア共用部



ONE FUKUOKA BLDG.

TENJIN MOSAIC

Toyameg

トーヤメグ

天神の交差点で繰り広げられる多様な出会いを描いた作品です。人や動物、そして国籍問わない老若男女が交じり合い、明るく元気な福岡の活気を表現しました。



4F 商業フロア共用部



ONE FUKUOKA BLDG.

Behind the street

Kishiro Sumita

スミタ キシロウ

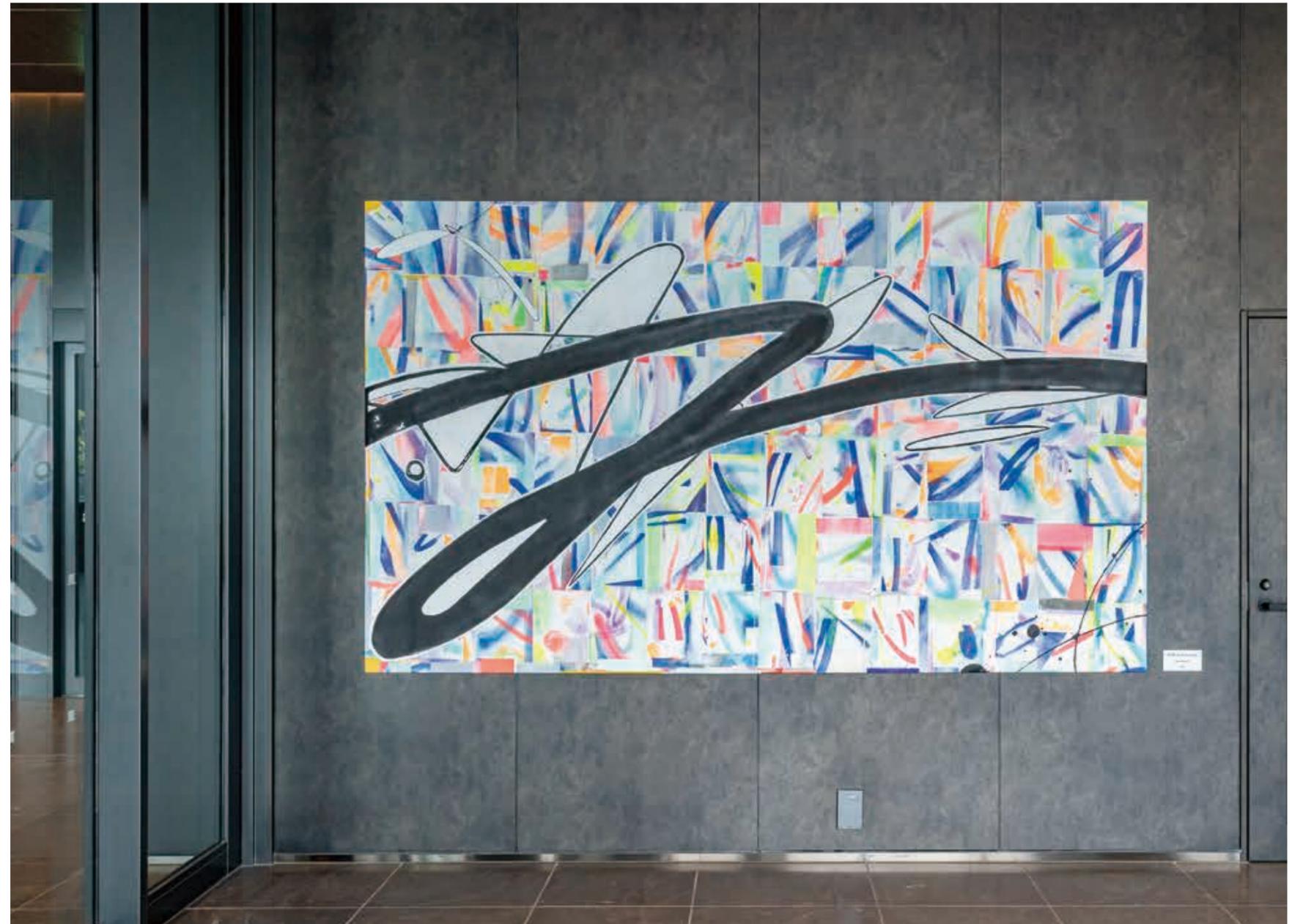
一筆で勢いよく描いた線を組み合わせ、制作しました。天神という街が将来に向かってますます発展していく希望を表現するものです。また「グラフィティや書道も、大きく言えばそれぞれ自国の文字を使った表現であることには変わりないが、文字という形態から離れた場合の美しさは言語の壁や世代を超えていけるのではないか」と自分は考えています。またこのシリーズではペンやマーカーで「とめ」「はね」「はらい」のような文字の要素を抽出して、それをキャンバスに書き起こす試みを続けています。

因幡町通り

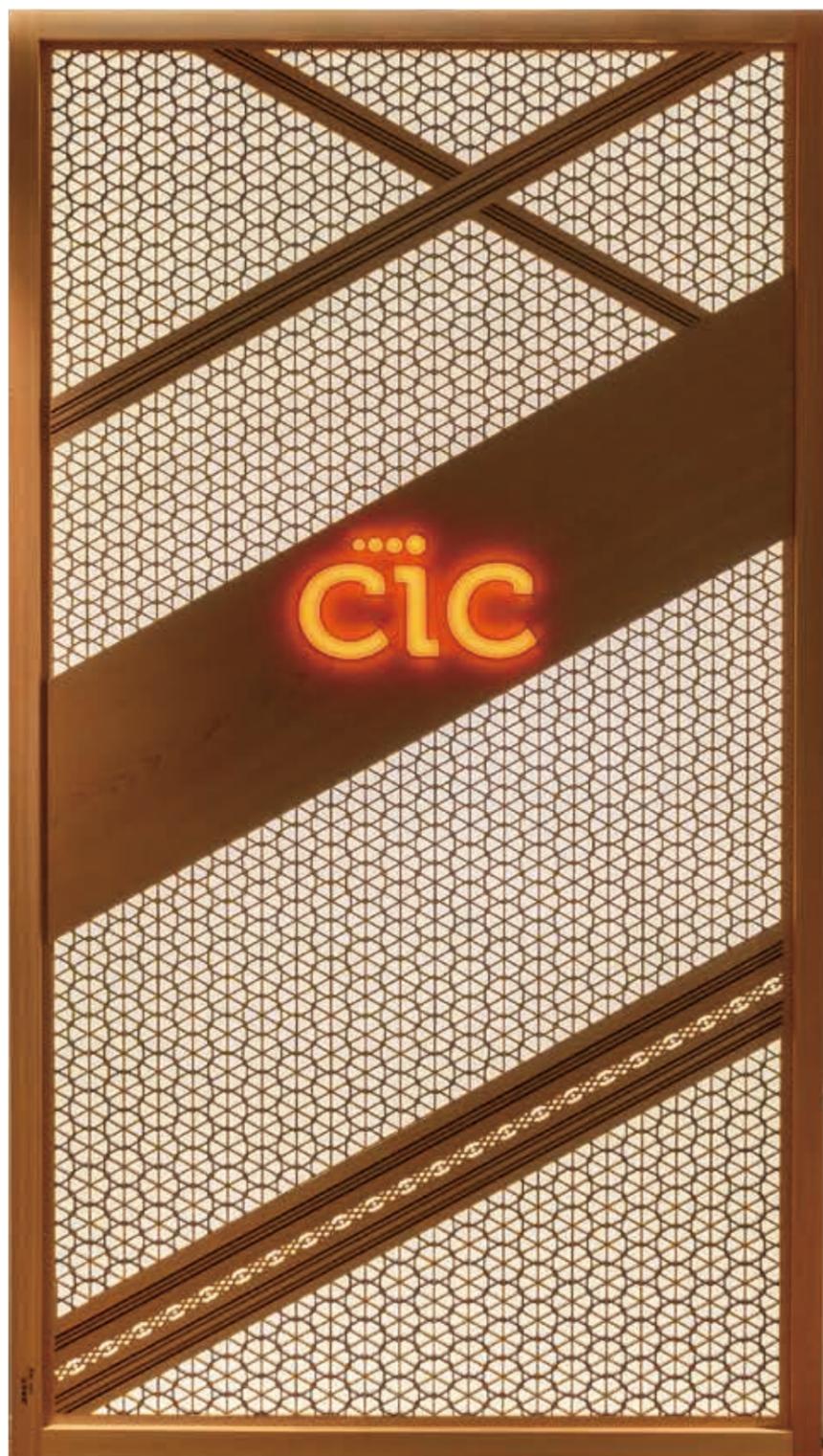


6F

ONE FUKUOKA
CONFERENCE HALL 入口



ONE FUKUOKA BLDG.



唯一逸品作り 博多献上組子

湊屋 七代目
利右衛門 志岐浩実

ミナトヤ シチダイメ リエモン シキヒロミ

古代五色献上を中国の思想『仁・義・礼・智・信』五常を自然木材の尾州檜の紅と白・朴の緑・黒檀の黒・パープルハートの紫で表現。博多献上柄二種、縦縞文様の一つ親子縞は『親が子供を守る』。もう一つは孝行縞は『子が親を慕う』。中央の菱連続文様は独鈷華皿は『煩惱を打ち砕く』を取り入れ。又、博多献上帯は一度結んだら解け難く年を重ねる程馴染み愛されると言い伝えられえおり、このプロジェクトに相応しく思い創意工夫させて頂きました。



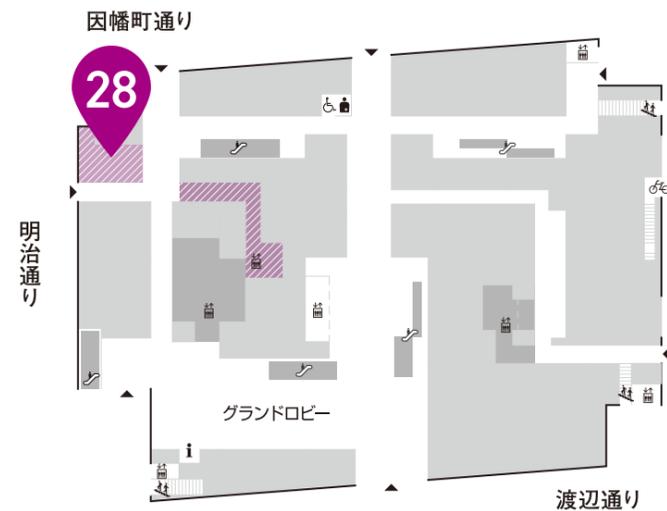
ONE FUKUOKA BLDG.

Fukuoka Building & Tenjin Core, Fukuoka

Sander Patelski

サンダー・パテルスキー

ビルの明治通り側の入口に面す、THE CAFEには地域の方々に愛着がある福ビル、天神コアをモチーフにしたコミッションワークのアートを設置。



1F

THE CAFE by
ONE FUKUOKA HOTEL



ONE FUKUOKA BLDG.

Sound

古川 吉重

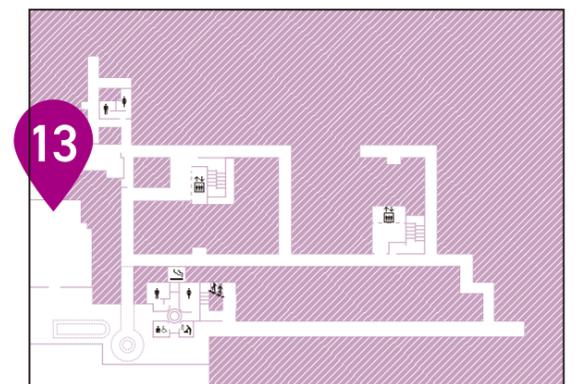
フルカワ ヨシシゲ

福岡出身でNYで晩年を過ごした、福岡を代表するアーティスト。オールデイダイニングの奥の壁には、アートを4連で設置。Soundというタイトルのこのアートは、並んでみると、それぞれのアートが音を奏でているバンドのようで、どこか賑やかですが、心地よさもあり、活気のあるアートです。



因幡町通り

明治通り

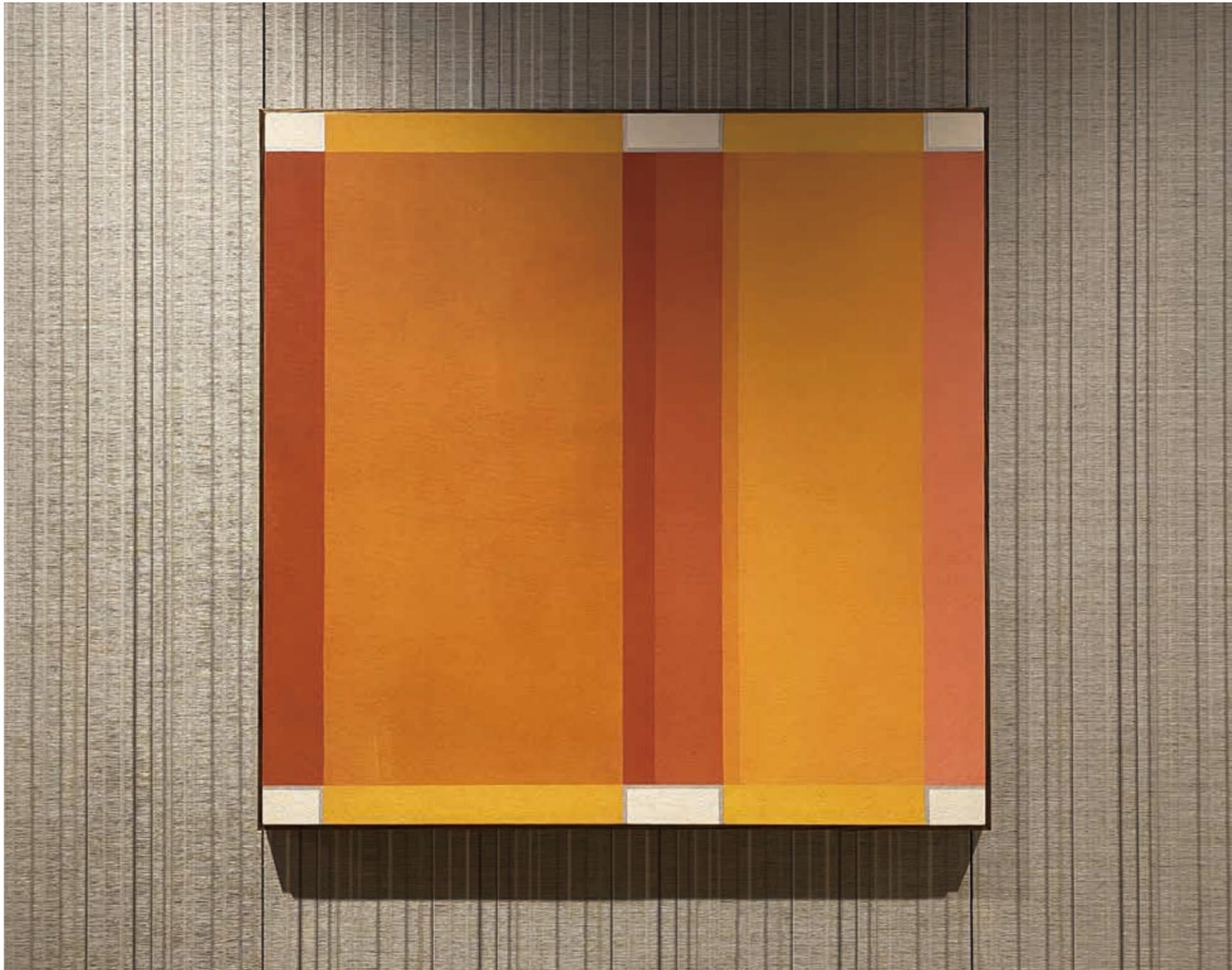


渡辺通り

19F ONE FUKUOKA HOTEL
レストラン



ONE FUKUOKA BLDG.

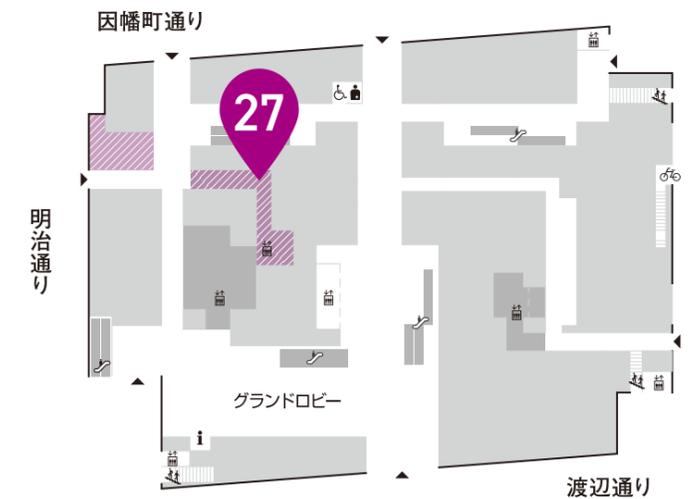


Space of color

一ノ宮 佳邦

イチノミヤ ヨシクニ

大分県日田市生まれ、福岡在住のアーティスト。色と色の境界を突き詰めて表現し、マスキングを使わずハンドペイントで何度も色を重ねて構成された配色や、重なり合う色のバランスが素晴らしい。



1F THE CAFE by ONE FUKUOKA HOTEL



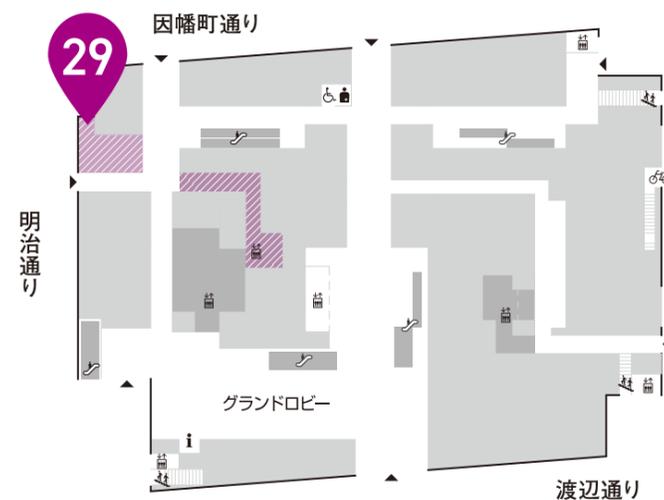
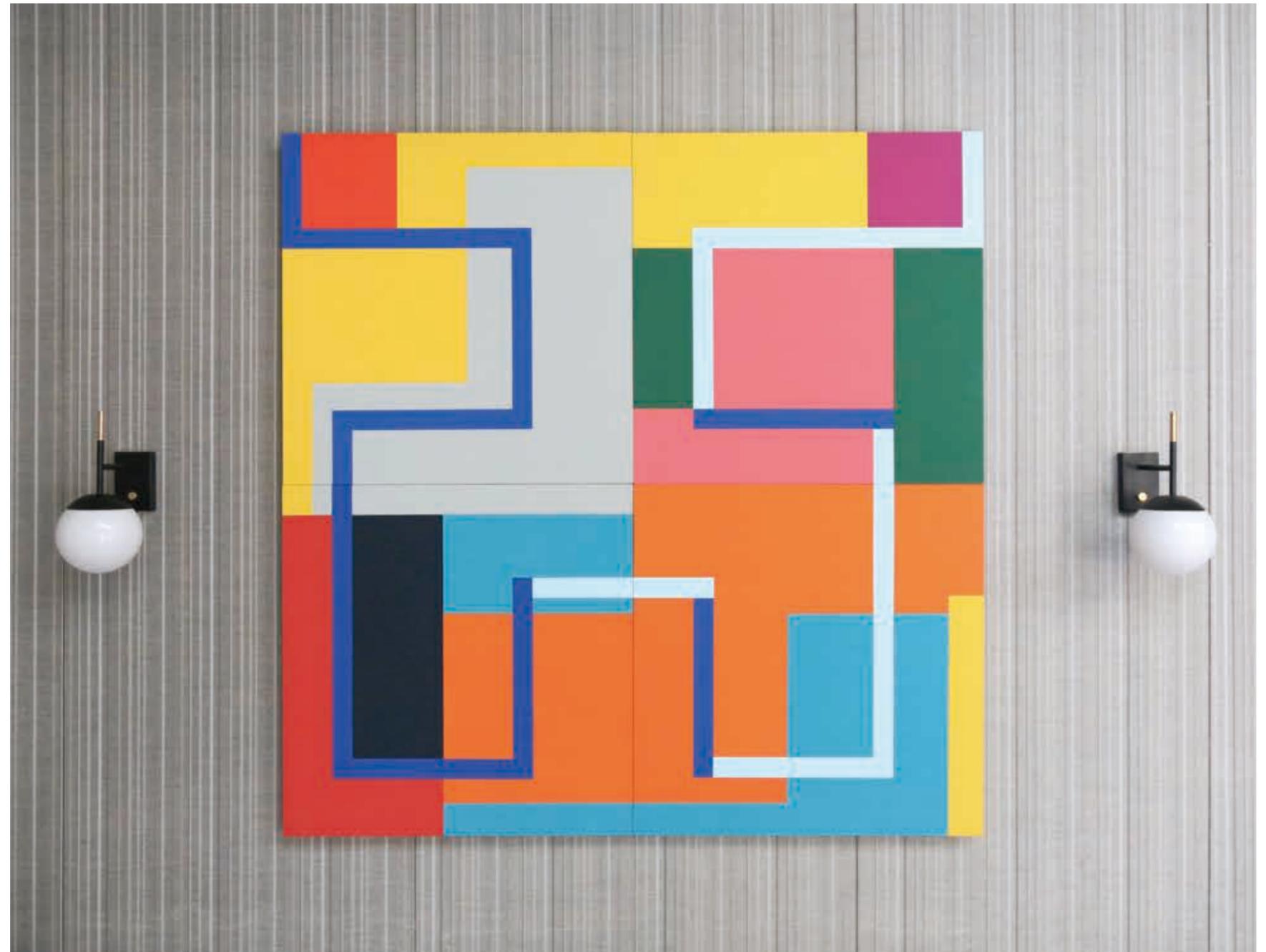
ONE FUKUOKA BLDG.

Hilbert curve

中嶋 浩子

ナカジマ ヒロコ

東京生まれ。武蔵野美術大学テキスタイル専攻科で連続模様の面白さに出会い、ドイツ、ゲッティンゲン大学数理研究科にて「見えない部分を構成するもの」を概念数学の世界に見たことで、連続模様(パターン)の背景にある数学的なシステムに魅了され制作を続けている。幾何学的形態や文字をシンボル化し、連続的な規則性の中に「間」や「ズレ」を直感的に加え独自に「CONTINUUM」として表現している。



1F

THE CAFE by
ONE FUKUOKA HOTEL



ONE FUKUOKA BLDG.

空気の人

鈴木 康広

スズキ ヤスヒロ

「空気の人」は、分子サイズから大気圏までスケールを超えて地球上にあまねく存在する空気を擬人化した作品です。これまで世界中のさまざまな場所の空気を体内に吹き込んできました。ワンビルの5階と6階の間にぽっかりと浮かんだ空間で、人のかたちを与えられた無数の空気分子はゆっくりと入れ替わっていきます。窓から見える天神の景色とともに、目に見えないもので満たされた「空気の人」の存在感をお楽しみください。



5F 西側エスカレーターホール横



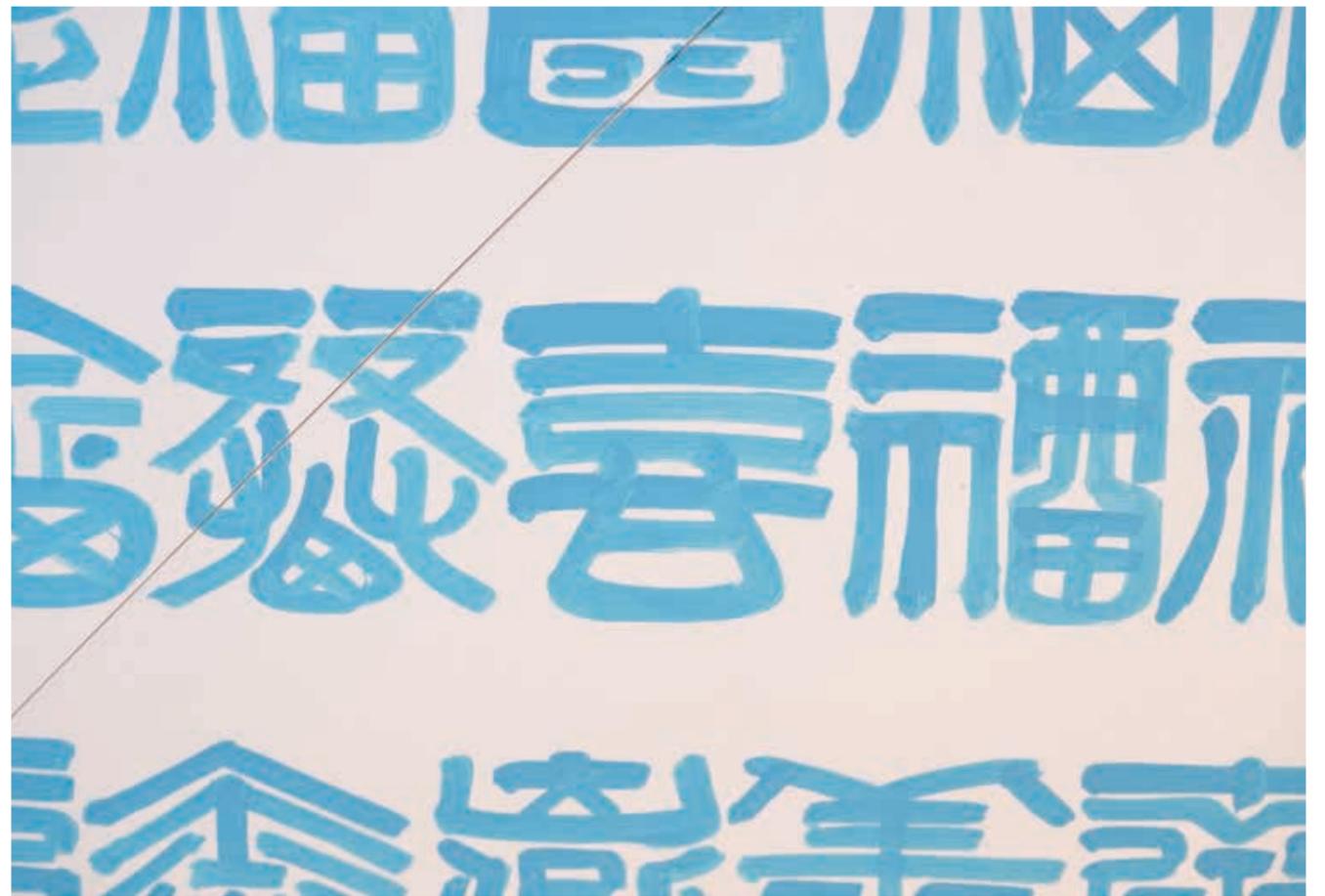
ONE FUKUOKA BLDG.

喜福

中村 ふく

ナカムラ フク

様々な書体の「福」の文字で構成された、福岡・天神の『過去』『現在』『未来』を表現した3連の作品。いつでもどんな天気でも心が晴れやかになるよう空の色で描き、天神コアやビブレのように、ワンビルがいつか帰福した人たちにとってホッとするような場所になるようにとの願いが込められています。



5F | 5F西側演出スペース



ONE FUKUOKA BLDG.



境の石 天神

大西 康明

オオニシ ヤスアキ

河原の石を銅箔で型取り、空間に配置する作品です。都市の建築の表と裏の境界部分に山や洞窟のようにも見える透過した風景が現れます。



4F 商業フロア共用部



ONE FUKUOKA BLDG.

《鯨の目》シリーズ 海の血 / Blood of the sea・シラ:白の森

大小島 真木

オオコジマ マキ

命をめぐる豊穡な世界を巨大な鯨の姿に描き出し、見る人にエネルギーを与えると共に、「地球」という生態系で共に生きるとはどういうことかを考えさせます。土に根ざすもののシンボルとして大きな木を描き、ワンビルがこの先、縦に紡がれてきた地元の文化と、横へと移動してゆく異文化とのクロッシングポイントになってゆくことを期待する新作も登場します。



因幡町通り

明治通り



渡辺通り

6F SKY LOBBY共用部



ONE FUKUOKA BLDG.

焼成隕石 -Ring Nebula-

クニト

宇宙から粘土が落ちてきたら大気圏突入時の温度で焼きものになるのでは?という着想から生まれた、スケールの大きな立体作品の新作が登場。

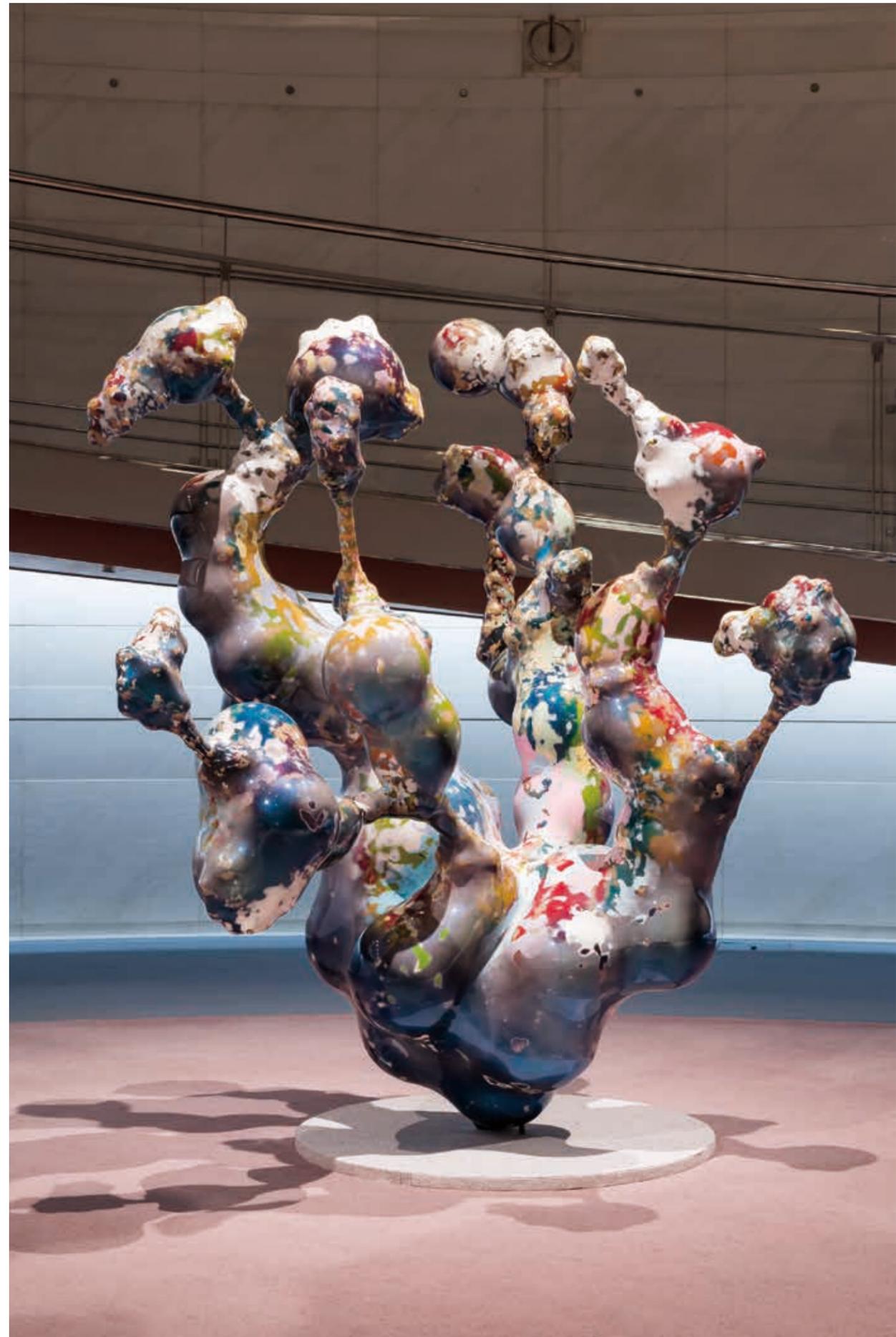
遥か彼方の宇宙に思いを馳せる、ダイナミックな視点をお楽しみください。



6F SKY LOBBY共用部



ONE FUKUOKA BLDG.



焼成隕石シリーズ過去作:落ちてきた小さき部屋

ONE FUKUOKA BLDG. ART MAP

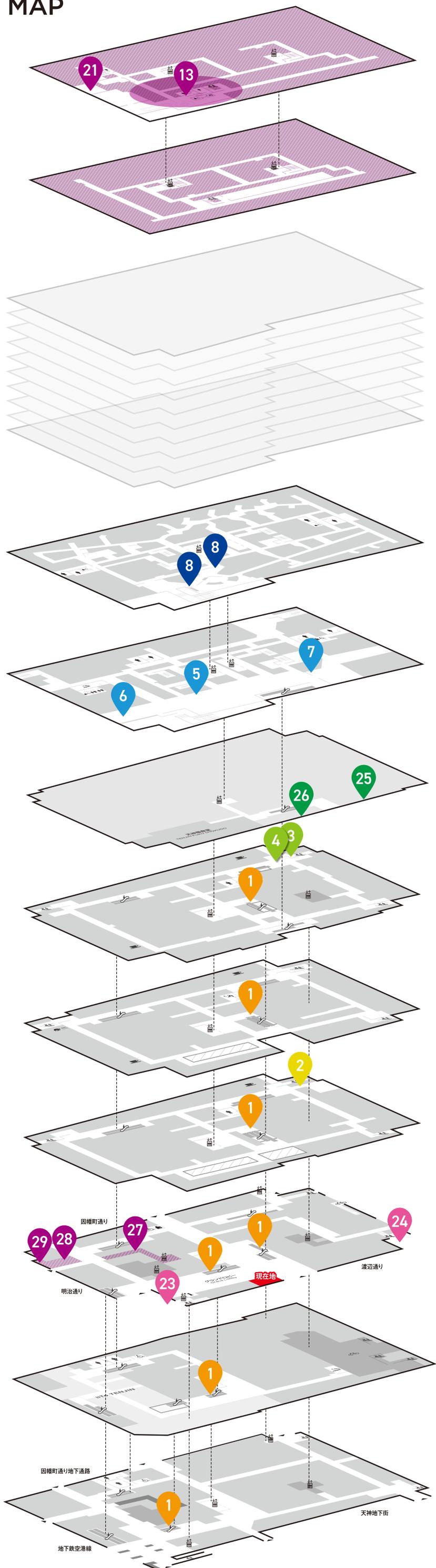
HOTEL

OFFICE

SKY LOBBY

SYOKUDOU

SHOP & RESTAURANT



19F

21 **Sound**
古川 吉重 (フルカワ ヨシシゲ)



13
館鼻 則孝 (タテハナ ノリタカ)



18F

17F

8 **唯一逸品作り 博多献上組子**
湊屋 七代目 利右衛門 志岐浩実
(ミナトヤ シチダイメ リエモン シキヒロミ)



8F

5 **《鯨の目》シリーズ**
海の血 / Blood of the sea · シラ: 白の森
大小島 真木 (オオコジマ マキ)



7F

6 **焼成隕石 -Ring Nebula-**
クニト



7 **Behind the street**
Kishiro Sumita (スマタ キシロウ)



6F

26 **空気の人**
鈴木 康広 (スズキ ヤスヒロ)



25 **喜福**
中村 ふく (ナカムラ フク)



5F

3 **TENJIN MOSAIC**
Toyameg (トーマメグ)



4F

4 **境の石 天神**
大西 康明 (オオニシ ヤスアキ)



3F

2 **tieCOM_2501**
Soh Souen (ソー・ソウエン)



2F

28 **Fukuoka Building & Tenjin Core, Fukuoka**
Sander Patelski (サンダー・パテルスキー)



27 **Space of color**
一ノ宮 佳邦 (イチノミヤ ヨシクニ)



1F

29 **Hilbert curve**
中嶋 浩子 (ナカジマ ヒロコ)



23 **Future Bloom**
Nicolai Bergmann (ニコライ・バーグマン)



B1F

24 **Pixel Tree**
Leandro Erlich (レアンドロ・エルリッヒ)



B2F

B2~4F
1 **Mi volas paroli**
鹿児島 睦 (カゴシマ マコト)

